

令和 7 年度 第 1 回嘉麻市中小企業振興審議会 会議録

1 審議会等の名称

令和 7 年度第 1 回嘉麻市中小企業振興審議会

2 開催日時

令和 7 年 7 月 1 5 日（火） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 3 0 分

3 開催場所

嘉麻市役所本庁 5 階 委員会室 2

4 公開、非公開または一部非公開の別

公開

5 非公開または一部非公開の場合にあっては、その理由

—

6 出席者

日高 健 委員（会長）、俣野 泰司 委員（副会長）、林田 史朗 委員、
嶋田 尋美 委員、立石 研司 委員、西野 晃史 委員、中村 瑠梨 委員
中村 博美 委員、大田 岱次 委員

（事務局）

嘉麻市産業振興課長 原田 幸治、産業振興課 課長補佐 岩屋 剛
商工係長 松本 浩一、商工係 児玉、中嶋、企業誘致係長 尾籠 拓自

（欠席者）

吉安 勝行 委員、大野 繁治 委員、益田 裕子 委員

7 傍聴人数

—

8 議題及び審議の内容など

次 第

- ①産業振興課長あいさつ
- ②新役員・職員あいさつ
- ③副会長選出について
- ④会長あいさつ

報 告

- (1) 市内公共事業発注状況について

議 事

- (1) 令和５年度デジタル化に関するアンケート報告会について
- (2) 令和７年度デジタル化に関するアンケート調査について
- (3) 令和７年度スケジュールについて
- (4) その他

報告

- (1) 市内公共事業発注状況について

（事 務 局）・市内公共事業発注状況【資料１】について説明。

（委 員）・プロポが行われる際に、市内の事業者が受けられるメリットなどあるのか。例えば選考委員会の中で、市内事業者であれば、加算が〇〇点つくなど。何か優遇措置はないのか。

（事 務 局）・そういったものはない。

（委 員）・実績のある市外のゼネコンが有利といったことになるのか。

（事 務 局）・実績以外にも評価項目が多くあるため、実績だけで決定するものではない。

（委 員）・プロポ件数２７件とあるが、そのうち実際に採択（受注）されたのは何件か。

（事 務 局）・回答のあったプロポの詳細について、後日確認を行い、次回の会議の際にでも回答させていただく。

（ 会 長 ） ・ プロポの件数に対して、事業所応募数が市内と市外で記載してあるが事業所応募数についても年度別に分けて記載してほしい。

・ プロポに参加される市外業者が多いこと、参加要件として「同種同業務の実績があるもの」が最も多いこと、この現状に対してどう対応するかといった話になってくる。

（ 委 員 ） ・ 専門性の高い事業内容を受けられる市内事業者が現実問題としていないのではないか。市内事業者を優遇し選考した結果、求められた仕事ができないとなるほうが問題だと思う。

・ 市内支出が 50%を下回っており、その考察として「市内での支出を心がける」とあるが、心がけるだけでは改善されないため、何かルールを設けることや、例えば、まずは市内事業者がどこまでの仕事ができるかなどを把握することも大切だと思う。

（ 委 員 ） ・ プロポではなく、他のやり方はないのか。市内の零細企業が一つでも多く公共工事に参加できればと思う。

（ 事 務 局 ） ・ 通常の入札に関しては市内事業者の参加を優先的に促す仕組みがある。

（ 委 員 ） ・ 嘉麻市の産業を考えると、専門性の高い事業でプロポを行うと、市外事業者が多くなることは当然。市として、市内支出の 49.6%をどこまで伸ばしたいのか。

（ 事 務 局 ） ・ 中小企業振興基本計画の中で、2023 年度にその目標値を設定することとしていたが、まだ設定できていない。2026 年度までに〇〇%まで伸ばしたいといったことは、この審議会の中で決定したい。

（ 委 員 ） ・ 私のアイデアですが、市の補助金の在り方も含め、産業振興行政を長期的に考えていくうえで、やはり専門性の高いアドバイザーを活用すると

か、この審議会では多くの方々関わっているので、もっと線密に協議をしていくことが大切だと思う。

（ 委 員 ） ・ 嘉麻市の地域経済循環率を教えてほしい。

（ 会 長 ） ・ 地域循環率を上げることについては、当初計画策定時において、大きな課題でありました。2018 年の嘉麻市の循環率は 58.8%。高いように感じますが飯塚市は 84.3%、直方市 92.8%、田川市 80.9%。この数字を上げていきたいということで、第 1 次の計画で目標をたてたが、なかなか達成できなかった。第 2 次計画の中でも目標として設定するかを議論したが、現在の産業構造上、難しいという結論に至ったが、市の発注状況を見直すことは可能ということで、現行の計画の中で KPI を設定した。地域経済循環率の 58.8%については、中身を少し精査する必要があるが、これをどこまで上げていきたいのかを審議会の中で議論するのも良いかもしれない。その方法を考えると、一般競争入札は別として、プロポの採点基準を見直すことが一つ考えられる。もう一つは市内の事業者が参加できるように、市内事業者の能力を上げていく支援を考えること。それと別に誘致企業に関しても並行して考えていくことが重要。こういったことをこの審議会で協議し、提言したい。

（ 委 員 ） ・ 誘致企業の件で、市外に事業所がでていくといった話をよく聞くが、その理由は何か。

（ 事 務 局 ） ・ 大きな理由として、事業者が事業拡大する際に、市内に土地がなく、市外にでていくといったケースが多い。土地については、長い間、市のほうで工業団地の整備をしておりましたが、ここ数年工業団地の整備に関して、動いてまいりましたが、予算の議決がとれず、実現できていません。しかし、土地を確保していく取組として、市有地の活用や民間の土地の情報を得るための「産業用地バンク」といった制度も設けており、な

るべく市内の事業者さんには市内に引きとどまってもらいたいのと、外部からの受け入れに対しても対応できるようにしたいと考えている。

（ 委 員 ） ・ 工場の誘致には費用がかかるが、費用のかからない方法もある。市有地の活用について、ぜひ、検討いただきたい。

（ 委 員 ） ・ 大きな企業が市外へ出ると、税金面においてもダメージが大きい。市の存続に影響するため、心配しているところである。

（ 会 長 ） ・ 企業誘致のことについて、審議会で議論してきたが、市内事業者の流出を防ぐことも議論する必要がある。

議事

(1) 令和5年度デジタル化に関するアンケート報告会について

（ 事 務 局 ） ・ 市内公共事業発注状況【資料2】について説明。

（ 会 長 ） ・ 実施方法について、ご意見等あるか。

（ 委 員 ） ・ 休日実施よりも、平日のほうが事業者は参加しやすいのではないか。

（ 委 員 ） ・ 来ていただける方のイメージができていないのか。平日、休日開催関わらず、事業者の方は何かメリットがないと参加しないと思う。イメージできてますか。

（ 事 務 局 ） ・ 実際に何社きていただけるかはまだ試算できていない。参加者としては会計や経理担当含め、事務の方を想定している。

（ 委 員 ） ・ デジタル化の推進について、どの事業者をターゲットにするのかを明確

にする必要がある。経営基盤のある事業者をターゲットにしたほうが、参加事業者が多いと思う。当然、先ほども意見で出たが、事業者が参加する何かしらのメリットについては提示しておく必要があると思う。

（事務局）・ターゲットとしては、これからデジタル化を進めていく零細企業等を想定している。メリットの部分については、協議する必要があるが、例えば、県や市の補助金の情報を提供するなどが考えられる。デジタル化を進めたけれど何をすれば良いかわからないといった方々が集まれる場にできれば良いなと考えている。

・デジタル化の補助金等を活用して成功された方の事例発表や登壇なども視野にこれから内容を考えていきたい。

（会長）・事例集は以前の会議の中でまとめたものがあったような。

（事務局）・確認しておく。

（委員）・補助金の後追い調査は重要である。起業チャレンジ補助金も大変好評で起業する方にとって、凄く有難い制度であると認識しております。一方で、その後の売上がどうなっているかや、実際に〇〇社が存続しているなど、そういった情報をまとめて、どこかの場で報告していただきたい。

（会長）・実施方法は単独開催か、デジタルまつりとの共催か。

（委員）・デジタルまつりは一般の方が多いので、独自開催のほうがいい。

（委員）・市とデジタル化に関する協定を締結している事業者に参加していただければ、デジタルまつり共催の際に参加いただくドコモさんとかの代替えになるのではないかな。

（事務局）・今後、検討します。

（委員）・中小企業の方は日々忙しく、休日に参加は考えられないので、独自開催のほうが良いと思う。報告会に参加された事業者の方々を次回デジタルまつりにきてくださいといった波及のやり方が良いと思う。もう一つはオンライン開催も手法の一つで考えてみても良いかもしれない。

（事務局）・単独開催する場合、どの時間帯が参加しやすいか。

（委員）・経営者でなく、業務の担当者であれば、事前に連絡していただければ、いつでも参加調整は可能だと思う。

（会長）・講演者として考えられるのは、第2期の計画策定時より関わりのあった九経調の方などが想定されると思うが、他にご意見等あればお願いします。

（委員）・福岡銀行でデジタル化支援部といった部署がある。その中に専門家が何人かいる。その方々は主に中小企業のデジタル化支援をされており、成功事例等についても講演できる実績を持っている。もしご興味ございましたら、ご紹介できる。講演についても無償でできる。

（2）令和7年度デジタル化に関するアンケート調査について

（事務局）・令和7年度実施中小企業デジタル化アンケート【資料3】について説明。

【意見等なし】

（会長）・アンケート調査項目の追加等、何かありましたら、事務局までご連絡ください。

(3) 令和7年度スケジュールについて

(事務局) ・アンケートを9月、10月頃実施し、第2回の審議会もそのあたりで開催を予定している。第3回は来年の2月頃を予定。報告会の時期はこれから協議してまたご連絡させていただく。

【意見等なし】

(4) その他

(委員) ・起業チャレンジの審査会の運用方法について、年々件数も増えてきましたので、審査基準を含め、ご検討をお願いします。

(委員) ・起業チャレンジ補助金について、補正はあげられないか。嘉麻市で創業したいという熱い想いをお持ちの方も多く、市外へ起業者が流れることも防ぎたいので、ぜひご検討ください。

(事務局) ・市の財政状況を鑑みながら、検討する必要がある。